

2024年 3 月期 第2四半期 決算説明会資料

株式会社ヤマダホールディングス

2023年11月6日



YAMADA HOLDINGS CO.,LTD.



1. 2024年3月期 第2四半期業績

振り返り	2
連結業績	3 - 4
部門別売上高	5
全体概況	6

2. 主要セグメント概況

デンキセグメント	7
住建セグメント	8
金融、環境セグメント	9

3. 2024年3月期 下期の取り組み

中期経営計画に掲げた4つの重点施策	10 - 11
連結計画【通期】	12
50周年を迎えて	13



■ 上期を通して

- ・ 新型コロナウイルス感染症が5類に移行後は、レジャー・サービス消費が旺盛となり、家電市場は苦戦が続くも、売場面積拡大、店舗再編により売上高は業界水準を超える
- ・ 記録的な猛暑日が続き、エアコン等の季節商品は好調に推移

■ 第1四半期

- 4月 創業の地に「Tecc LIFE SELECT 前橋吉岡店」オープン
体験型店舗 福岡県内初出店「Tecc LIFE SELECT 福岡志免本店」オープン
- 5月 新型コロナウイルス感染症が5類に移行、経済活動正常化へ
自己株式取得終了(2022年5月9日～2023年5月8日 / 取得株式総数：185,081,300株)
- 6月 (株)イーウェルネスを吸収合併(デンキセグメント)
藤沢市初出店 「LABI藤沢」オープン
狭山市初上陸「Tecc LIFE SELECT 狭山店」オープン
業種を超えたコラボレーション生活提案型ショッピングスクエアに
「Tecc LIFE SELECT 野々市御経塚店」オープン

■ 第2四半期

- 7月 (株)ヒノキヤグループが子会社6社を吸収合併、業務効率改善やグループシナジーの最大化を図る(住建セグメント)
「FUNAI Fire TV搭載スマートテレビ」新機種発売
フィルター自動お掃除機能付きオリジナルエアコン「RIAIR」発売
- 8月 (株)ミダックホールディングスとの合併契約締結、資源循環型環境事業の取り組みを加速
- 9月 部活動の地域連携サポート事業を開始
群馬県北群馬郡吉岡町にて陸上スクール「ヤマダホールディングスJr.スクール」開設



HLDGS.

2024年3月期 第2四半期 連結P/L【四半期】

YAMADA HLDGS.

記録的な猛暑により季節家電が大きく伸長し増収・増益

第1四半期 [4-6月]

第2四半期 [7-9月]

(単位：百万円・%)	当期実績	売上比	前期実績	売上比	前期差額	前期比	当期実績	売上比	前期実績	売上比	前期差額	前期比
売上高	363,709	100.0	375,859	100.0	△ 12,149	96.8	411,493	100.0	398,775	100.0	12,718	103.2
売上総利益	111,212	30.6	113,390	30.2	△ 2,177	98.1	114,357	27.8	108,966	27.3	5,391	104.9
人件費	44,401	12.2	44,813	11.9	△ 411	99.1	46,594	11.3	45,157	11.3	1,437	103.2
広告宣伝費	5,497	1.5	5,409	1.4	88	101.6	5,154	1.3	5,008	1.3	146	102.9
地代家賃	18,670	5.1	18,921	5.0	△ 250	98.7	19,026	4.6	18,329	4.6	697	103.8
減価償却費	4,857	1.3	4,640	1.2	216	104.7	5,062	1.2	4,780	1.2	282	105.9
リース料及びリース減価償却費	460	0.1	406	0.1	53	113.1	484	0.1	444	0.1	40	109.0
その他	26,252	7.2	26,938	7.2	△ 686	97.5	28,741	7.0	27,735	7.0	1,007	103.6
販売費及び一般管理費	100,139	27.5	101,127	26.9	△ 987	99.0	105,065	25.5	101,453	25.4	3,611	103.6
営業利益	11,072	3.0	12,263	3.3	△ 1,190	90.3	9,292	2.3	7,513	1.9	1,779	123.7
営業外収益	2,894	0.8	3,190	0.8	△ 296	90.7	2,492	0.6	2,380	0.6	112	104.7
営業外費用	955	0.3	1,012	0.3	△ 57	94.3	1,157	0.3	948	0.2	208	122.0
経常利益	13,011	3.6	14,440	3.8	△ 1,429	90.1	10,627	2.6	8,944	2.2	1,682	118.8
特別利益	3,124	0.9	173	0.0	2,950	1804.3	40	0.0	934	0.2	△ 894	4.3
特別損失	100	0.0	142	0.0	△ 41	70.6	3,817	0.9	3,266	0.8	551	116.9
法人税等合計	5,345	0.0	△ 209	-	5,555	-	3,876	0.9	3,640	0.9	236	106.5
非支配株主に帰属する四半期純利益	198	0.1	1	-	196	-	216	0.1	18	0.0	198	1166.4
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,491	2.9	14,680	3.9	△ 4,189	71.5	2,757	0.7	2,954	0.7	△ 196	93.3



HLDGS.

2024年3月期 第2四半期 連結P/L【上期】

YAMADA HLDGS.

家電：市場シェアアップ・在庫鮮度管理・販管費統制により増収・増益

(単位：百万円・%)	当期実績	売上比	計画	売上比	計画比	前期実績	売上比	前期比
売上高	775,203	100.0	814,700	100.0	95.2	774,634	100.0	100.1
売上総利益	225,570	29.1	236,500	29.0	95.4	222,356	28.7	101.4
人件費	90,996	11.7	92,550	11.4	98.3	89,970	11.6	101.1
広告宣伝費	10,652	1.4	11,022	1.4	96.6	10,417	1.3	102.3
地代家賃	37,697	4.9	37,552	4.6	100.4	37,250	4.8	101.2
減価償却費	9,919	1.3	11,046	1.4	89.8	9,420	1.2	105.3
リース料及びリース減価償却費	944	0.1	1,009	0.1	93.6	851	0.1	111.0
その他	54,993	7.1	59,418	7.3	92.6	54,669	7.1	100.6
販売費及び一般管理費	205,204	26.5	212,600	26.1	96.5	202,580	26.2	101.3
営業利益	20,365	2.6	23,900	2.9	85.2	19,776	2.6	103.0
営業外収益	5,386	0.7	4,900	0.6	109.9	5,570	0.7	96.7
営業外費用	2,112	0.3	2,300	0.3	91.9	1,961	0.3	107.7
経常利益	23,639	3.0	26,500	3.3	89.2	23,385	3.0	101.1
特別利益	3,164	0.4	1,000	0.1	316.4	1,107	0.1	285.7
特別損失	3,917	0.5	2,300	0.3	170.3	3,408	0.4	114.9
法人税等合計	9,222	1.2	9,580	1.2	96.3	3,430	0.4	268.9
非支配株主に帰属する四半期純利益	415	0.1	20	0.0	2,075.8	20	0.0	2059.9
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,248	1.7	15,600	1.9	84.9	17,634	2.3	75.1



HLDGS.

2024年3月期 第2四半期 部門別売上高【上期】

YAMADA HLDGS.

エアコン、白物家電を中心に大型・高付加価値商品が好調に推移

(単位：百万円・%)		当期実績	構成比	前期比	前期実績	構成比	構成比増減
家電	カラーテレビ	45,858	5.9	92.9	49,350	6.4	△ 0.5
	ビデオ・DVD	9,445	1.2	90.9	10,388	1.3	△ 0.1
	オーディオ	8,966	1.2	101.6	8,822	1.1	0.0
	冷蔵庫	67,025	8.6	101.3	66,160	8.5	0.1
	洗濯機	59,498	7.7	102.0	58,329	7.5	0.1
	調理家電	29,000	3.7	102.2	28,373	3.7	0.1
	エアコン	78,687	10.2	105.3	74,759	9.7	0.5
	その他の冷暖房器具	7,661	1.0	112.3	6,822	0.9	0.1
	工事	37,138	4.8	102.1	36,369	4.7	0.1
	その他 ※1	102,090	13.2	99.4	102,712	13.3	△ 0.1
小計		445,373	57.5	100.7	442,087	57.1	0.4
情報家電	パソコン	45,137	5.8	94.1	47,981	6.2	△ 0.4
	デジカメ	7,656	1.0	132.5	5,776	0.7	0.2
	パソコン周辺機器	19,956	2.6	99.3	20,105	2.6	△ 0.0
	携帯電話	51,492	6.6	118.0	43,628	5.6	1.0
	その他 ※2	17,606	2.3	99.9	17,629	2.3	△ 0.0
小計		141,848	18.3	105.0	135,121	17.4	0.9
住宅関連 ※3		134,373	17.3	103.9	129,279	16.7	0.6
家具・インテリア		21,762	2.8	118.4	18,380	2.4	0.4
AVソフト・GMS他		31,845	4.1	64.0	49,764	6.4	△ 2.3
全体売上高		775,203	100.0	100.1	774,634	100.0	0.0

集計区分について

※1
【家電 その他】
健康関連商品
理美容商品
クリーナー
サービス関連売上等

※2
【情報家電 その他】
パソコンサブライ
パソコンソフト
電話機・FAX
DOS/V等

※3
【住宅関連】
住宅・リフォーム関連等



HLDGS.

2024年3月期 第2四半期 全体概況

YAMADA HLDGS.

家電小売り業界が総じて厳しい中、企業体質強化により増収・増益

(前年同期比)

売上高

1Q : 96.8% 2Q : 103.2% 上期 : 100.1%

- ・円安・物価高などに伴う実質賃金の低下による家電・耐久消費財の買い控え
- ・第1四半期におけるエアコン不振を挽回する、その後の記録的猛暑による季節家電の大幅な伸長
- ・コロナ禍からの社会経済活動の正常化・人流の活発化に伴うレジャー・サービスへの消費志向のシフト、家電量販客数減少
- ・積極的な店舗開発による売場面積・シェア向上、及び効率的な店舗ネットワークの再構築

売上総利益

1Q : 98.1% 2Q : 104.9% 上期 : 101.4%

- ・政策的なB/S改革の結果、適切な在庫管理を推進仕入れ・リベート増加
- ・リフォーム及び家具インテリア売上・粗利の伸長
- ・高付加価値商品の需要拡大及び適正売価での販売促進
- ・リユース家電の需要拡大、生産・販売の伸長
- ・DXによる、効果的・効率的な販促による売上実績の伸長

販売費及び一般管理費

1Q : 99.0% 2Q : 103.6% 上期 : 101.3%

- ・売場面積5%拡大に向けた新規出店・人員採用の増加
- ・エネルギー価格上昇による水光熱費増加等の影響がある一方、徹底した経費コントロールにより前年比微増
- ・DX推進への先行投資



HLDGS.

「暮らしまるごと」の付加価値提案の強化と徹底した販管費統制により増益

(単位：百万円・%)	当期実績	前期実績	前期差額	前期比
売上高	644,609	645,630	△ 1,021	99.8
売上総利益	196,661	194,045	2,616	101.3
販売費及び一般管理費	176,401	175,251	1,149	100.7
営業利益	20,260	18,793	1,466	107.8

1. LIFE SELECTの積極的出店

LIFE SELECT33店舗にて暮らしのトータル提案

- ・前橋吉岡店 (2023.4.14)
- ・福岡志免本店 (2023.4.28)
- ・狭山店 (2023.6.23)
- ・野々市御経塚店 (2023.6.30)

2. 様々な業態店舗の開発推進

LIFE SELECT、YAMADA web.com、アウトレット等の開発を進め、家電製品と親和性の高い住まいに関連する製品の販売拡大

3. EC売上

自社サイトの刷新、DXマーケティング進化により売上伸長

4. リフォーム売上

家電顧客の送客効果、潜在需要取り込みにより約110%伸長

5. 家具・インテリア売上

LIFE SELECT好調により115%伸長（大塚家具除く）

6. SPA家電売上

お客様の声をダイレクトに活かした多様な商品投入により110%伸長

7. アウトレット売上

店舗での買替下取りを強化 リユース家電の販売が伸長

トピックス

① 「暮らしまるごと」の提案を強化



- ▲ 2023年4月創業の地にオープン
暮らしに関わるあらゆる商品を取り揃える
「Tecc LIFE SELECT 前橋吉岡店」

② 海外事業展開

インドネシアを中心に積極的店舗開発

- ・最大級の品ぞろえ
- ・日本で培った最新の店舗DX導入



《現在 29店舗 展開》

	店舗	年商計画
シンガポール	13	261億円
マレーシア	8	22億円
インドネシア	8	25億円

- ▲ インドネシア 8号店 AEON BSD店



HLDGS.

2024年3月期 第2四半期 セグメント概況【住建】

YAMADA HLDGS.

建築資材高騰に伴う前期値上げ影響等により今期着工・完工減少 ただし足元受注は好調

(単位：百万円・%)	当期実績	前期実績	前期差額	前期比
売上高	120,019	120,262	△ 243	99.8
売上総利益	27,693	27,341	352	101.3
販売費及び一般管理費	29,076	28,022	1,054	103.8
営業利益	△ 1,382	△ 681	△ 700	-



《ご参考》

※ ヒノキヤグループは12月決算のため、1～6月実績。

(単位：百万円・%)	ヤマダホームズ		ヒノキヤグループ		ハウステック	
	当期実績	前期比	当期実績	前期比	当期実績	前期比
売上高	33,966	96.0	58,765	104.1	30,055	105.4
営業利益	△ 2,288	-	730	66.9	900	120.9
	前期からの受注不足に伴う売上高の減少により、減収・減益 → 直近の住宅受注は好調に推移		住宅事業・断熱材事業ともに順調に推移する一方、ウッドショック等に起因する原価上昇が影響を残し、増収・減益 → 住宅事業の価格見直しによる粗利改善は着実に推移		商品価格戦略の見直し、当社グループシナジー等により好調に推移し、増収・増益	

トピックス

ヒノキヤグループ 子会社6社と統合、組織改編へ

2023年7月1日付けで子会社6社を吸収合併

→ 業務効率やグループシナジーの最大化を加速

住環境を整え暮らしの質の向上を目指す「ヒノキヤグループ2030」達成へ





HLDGS.

【金融】

ヤマダ住宅ローンは堅調 フラット35市場縮小への対応中

(単位：百万円・%)	当期実績	前期実績	前期差額	前期比
売上高	1,921	1,246	675	154.2
売上総利益	1,624	1,098	526	147.9
販売費及び一般管理費	1,438	880	558	163.5
営業利益	185	218	△ 33	84.8

トピックス

“暮らしまるごと”をコーディネートする
多彩な金融サービス

新築、リフォーム、資金決済、保険商品等、
ヤマダホールディングスグループの事業に紐づく
幅広い金融ニーズに対応

例) ヤマダNEOBANK住宅ローンにおける、
EV・V2H機器購入費用の組み込み

【環境】

リユース事業拡大 グループ完結型の「資源循環開発」への取り組み成果により増収・増益

(単位：百万円・%)	当期実績	前期実績	前期差額	前期比
売上高	16,319	16,090	228	101.4
売上総利益	2,545	2,442	103	104.2
販売費及び一般管理費	1,789	1,720	69	104.0
営業利益	756	722	33	104.7

トピックス

(株)ミダックホールディングスとの合併会社
「(株)グリーン・サーキュラー・ファクトリー」
を設立

- ・当社が保有する資源循環システムと
(株)ミダックホールディングスが保有する
高度で最適な廃棄物処理能力をより一層深化
- ・環境対応技術の開発や低炭素・循環型社会の
実現に向けた成長投資を行うことで、循環型
経済の構築と利益の最大化を目指す



“暮らしまるごと”戦略による各セグメントのつながる経営の実践

重点施策 1 店舗開発の積極的推進

- ・売場面積拡大・エリア別店舗開発の推進
- ・LIFE SELECT店を中心とした出店加速

- ・様々な業態店舗の開発
(LIFE SELECT、web.com、高級家具アウトレット)
- ・住まいに関する製品の販売拡大
売場面積の拡充とシェア向上は好調に推移

重点施策 2 Eコマースの強化推進

- ・顧客体験と運営効率を向上させるDXの更なる推進 (EC x リアル店舗 x デジタル)
- ・ヤマダウェブコム プラットフォーム刷新

- ・デジタルマーケティング進化により、
会員データ価値増大
- ・より楽しくお得にお買い物を
ネットでも、リアル店舗でも
- ・DXによる業務効率向上

重点施策 3 SPA商品の積極的開発

- ・お客様の声を活かした商品開発
- ・高品質でリーズナブルを実現

- ・お客様の声を活かした家電SPA商品拡大に
加え、インテリア扱いのステルス家電商品
開発

重点施策 4 各事業会社別 課題設定で目標達成を図る

- ・【住建】お客様の多様なニーズにお応えする
多彩なブランド住宅
- ・【金融】“暮らしまるごと”をコーディネート
する多彩な金融サービス
- ・【環境】リユース・リサイクルのグループ内
完結資源循環型システム

- ・【住建】営業管理新手法による受注強化
- ・【金融】スマートハウス向けヤマダ独自
住宅ローン開発・取り扱い開始
- ・【環境】自己完結型循環システム構築に向け
継続的投資 (最終処分場・リユース
工場・焼却プラント等)



“暮らしまるごと”戦略による各セグメントのつながる経営の実践

中期経営計画策定時(2021年11月)より
市場環境の変化（新型コロナウイルス感染症、物価高、地政学リスク等）
がみられたものの、
重点施策の実施により事業基盤が整う

重点施策 3 SPA商品の積極的開発

- ・お客様の声を活かした商品開発
- ・高品質でリーズナブルを実現

お客様の声を活かした家電SPA商品拡大に
加え、インテリア扱いのステルス家電商品
開発

重点施策 4 各事業会社別

今後も改革を継続することで事業成長を図る

- ・【金融】“暮らしまるごと”をコーディネートする多彩な金融サービス
- ・【環境】リユース・リサイクルのグループ内完結資源循環型システム

- ・【住建】事業管理新手法による受注強化
住宅ローン開発・取り扱い開始
- ・【環境】自己完結型循環システム構築に向け
継続的投資（最終処分場・リユース工場・焼却プラント等）



HLDGS.

2024年3月期 連結計画【通期】

YAMADA HLDGS.

現時点で2023年度通期計画修正なし

(単位：百万円・%)

	計画	売上比	前期実績	売上比	前期差額	前期比
売上高	1,686,000	100.0	1,600,586	100.0	85,413	105.3
売上総利益	480,800	28.5	448,771	28.0	32,028	107.1
人件費	186,680	11.1	177,799	11.1	8,881	105.0
広告宣伝費	23,122	1.4	21,628	1.4	1,494	106.9
地代家賃	75,709	4.5	74,291	4.6	1,417	101.9
減価償却費	23,064	1.4	18,818	1.2	4,245	122.6
リース料及びリース減価償却費	1,975	0.1	1,745	0.1	229	113.1
その他	119,748	7.1	110,422	6.9	9,326	108.4
販売費及び一般管理費	430,300	25.5	404,705	25.3	25,594	106.3
営業利益	50,500	3.0	44,066	2.8	6,433	114.6
営業外収益	9,400	0.6	10,186	0.6	△ 786	92.3
営業外費用	4,800	0.3	4,187	0.3	612	114.6
経常利益	55,100	3.3	50,064	3.1	5,035	110.1
特別利益	1,000	0.1	1,287	0.1	△ 287	77.6
特別損失	4,600	0.3	7,767	0.5	△ 3,167	59.2
法人税等合計	19,570	1.2	11,341	0.7	8,228	172.5
非支配株主に帰属する当期期純利益	30	0.0	417	0.0	△ 387	7.2
親会社株主に帰属する当期純利益	31,900	1.9	31,824	2.0	75	100.2



HLDGS.

50周年を迎えて

 **YAMADA** HLDGS.

お陰様で50周年 お客様への感謝を込めて様々な記念商品・キャンペーン計画中

YAMADA for ALL

みんなのシアワセ。ひとつのチーム。

50th

 **YAMADA**

【免責事項】

本資料に記載されている情報のうち過去の歴史的事実以外のものは、当社が判断した種々の前提及び仮定に基づいたものであり、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、実際の結果と大きく乖離する可能性や客観的には不正確である可能性があり、そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。

また、記載された将来の計画や予想、目標数値、施策等の実行を確約または保証するものではありません。

実際の業績は、今後の事業環境の変化等様々な不確定要因により、計画数値と異なる可能性があります。

本資料の内容は、情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。株式会社ヤマダホールディングス及びそのグループ各社の役員または従業員は、本資料の使用、その内容から生じる直接的、間接的または派生的な損害または損失に対して理由の如何を問わず一切責任を負うものではありません。

※本資料の無断使用・譲渡・複製・転載を禁じます。